

1. 実施日時・開催場所

2019 年 12 月 21 日（土）13:00～16:30 東呉大学日本語文学系文化教室「朝宗廳」

2. テーマ

日本文化を教える-「百人一首かるた」ワークショップ-

3. 講師

内田康（淡江大学日本語文学系副教授、淡江大学歌牌社顧問）

平岩桂子（日本台湾交流協会台北事務所 日本語専門家）

4. 概要

中等教育段階（中学や高校）で教える日本語教師のためのワークショップとして、「風呂敷」「華道」に続き、3 回目の「日本文化を教える」シリーズの研修会を実施しました。淡江大学歌牌社の学生による競技カルタのデモンストレーション、内田講師による講義、さらに「百人一首かるた」をテーマとした授業計画を立て、参加者間で共有・検討しました。授業計画にあたっては、国際交流基金日本語教授法シリーズ『日本文化を教える』の内容を一部扱いました。

5. 参加人数

17 名

6. 参加者の意見（アンケートより一部抜粋）

- ・勉強になりました！ありがとうございました。
- ・百人一首についていろいろなことを勉強しました。
- ・学生のモチベーションを上げるのは難しいのですが、我々教師にとって面白い教材を作って学生と一緒に学ぶことは非常に大切です。

7. 今後に向けて

近年、映画等の影響により台湾でも「百人一首かるた」の知名度は上がりつつあり、「競技カルタをやってみたい」と思っている高校生もいるようです。参加者の皆さんは、今回の研修会を通じて百人一首かるたや競技かるたについて理解されたと思います。一方、百人一首かるたや競技かるたをそのまま中学や高校での授業に取り入れるのはハードルが高いですが、授業計画のセッションで「形を変えて実施できる」ことが共有できたと思います。皆さんからの実践報告もお待ちしています。

